

と おかまち

Public Relations

市報



7 2017 / 10

平成29年 7月10日号

No.295



特集

「笹山じょうもん市」が生む 地区の活力、文化の継承 (2~5 ページ)



その他の主な内容

6	ピックアップニュース	12	タウンピックアップ 連載コーナー②
7	ハビ婚サポーター 結婚新生活支援事業補助金	14	地元サポーター通信
8	平成30年度採用の十日町市職員の募集	15	お知らせ・ガイド 連載コーナー③
10	国民健康保険 後期高齢者医療制度のお知らせ	22	熱中・夢中／おらほのたから
11	妊娠・出産のための支援 連載コーナー①	24	ジュニア芸術祭
	キラメキワーカーズ		



「笹山じょうもん市」が生む 地区の活力、文化の継承



～国宝のふるさとで行われる 縄文の祭典～

■問合せ＝中条公民館 ☎752-2748



中林 和也さん
(背戸・49歳)

遠くから来てくれる人もいます。そんな人たちのために、これからも続けていきたいイベントです。



酒井 義明さん
(上原新町・61歳)

地区の結束力が高まるイベントです。いろいろな人と話をして、交流が広がることも魅力です。

参加した 来場した人の声

子どもを連れて気軽に参加できるのが良いですね。地域密着で行われるイベントなので、これからも続いてほしいです。



田村廣樹さん(下町・31歳)と
家族の皆さん



NPO法人笹山縄文の里
理事長 須藤 誠也さん

今回で18回目を迎えた「笹山じょうもん市」ですが、ようやく一つの祭典として定着してきたと感じています。「近き者説び、遠き者来る」ということわざがあります。これは地元の人に関心を持つ

てもらおうことが、何よりの発信に繋がると解釈しています。ですので、一人でも多くの市民に「また行きたい」と思ってもらえるように、関係者で検討を重ね、未来に繋げて行きたいです。

地元に関心を持ってもらうことが発信に繋がる

「笹山じょうもん市」は、中条地区振興会とNPO法人笹山縄文の里が主催するイベントです。今年も6月4日(日)に笹山縄文広場で開催され、多くの人で賑わいました。きっかけは、中条地区にある笹山遺跡で発見された火焰型土器をはじめとした出土品が、平成11年6月7日に国宝に指定されたことにあります。これを記念し、そして『笹山縄文』を新たな時代づくりへと生かして行くことを目指し、「笹山じょうもん市」は開催されています。今号では、地区を挙げて行われているこのイベントについて、紹介します。



聖火台の火も火おこし機で



火焰型土器聖火台への点火式



会場を盛り上げた「笹山縄文太鼓」



第18回
笹山じょうもん市
火焰型土器を2020年東京オリンピック・パラリンピックの聖火台に!

オープニングの練り歩きで、世界へ向けて「笹山縄文」を発信



郷土芸能「大の坂」には中条小学校の生徒たちも参加

5千年前からこの地に息づいていた文化

笹山遺跡について



中条地区内の標高1700〜180メートルの信濃川右岸の河岸段丘上にあります。一部は市指定史跡として保存され、標柱・説明板と火焰型土器が発見されたときのモニユメントが設置されています。1980年から2013年にかけて、第10次までの本調査や範囲確認調査が行われ、今までに約1万6千㎡の範囲が発掘調査されています。縄文時代中期から後期の集落跡のほか、鎌倉時代から戦国時代の武士層の屋敷跡なども発見されています。

火焰型土器について

火焰型土器は、立体的な装飾に富み、優れた原始造形美を有する土器です。その独特な形や文様は、近隣各地の土器様式の影響のもと、今から約5300年前に信濃川中流域で成立しました。以降約500年間にわたり継続・発展したと推定されています。特に、指定番号1の火焰型土器（写真）は、アメリカ・フランス・イギリスの海外展にも出品され、日本の原始美術を代表するものとして絶賛されています。



縄文文化を世界に発信しませんか

現在、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会で、オリンピック・パラリンピックの開会式と閉会式で世界に伝えたい「日本のアピールポイント」を募集しています。市でも縄文文化の発信に積極的に取り組んでいますので、市民の皆さんからも、さまざまなアイデアの提案をお願いします。アイデアは下記のウェブフォームから投稿できます。

《提案の例》

●開会式・閉会式で世界に伝えたい日本や東京のアピールポイント

日本のモノづくりとアートの原点である火焰型土器に象徴される縄文文化

●理由

→縄文文化は日本文化の源流であり、「自然との共生」を基本に、大きな争いもなく平和で安定した暮らしを1万年以上に渡り営んでいたと言われている。その象徴である「国宝・火焰型土器」を東京オリンピック・パラリンピックの聖火台にして、世界に向けて縄文文化の素晴らしさを発信してほしい。

※このほかにニックネーム、居住都道府県、年代、性別の入力が必要



<http://ceremony.tokyo2020.jp/>

みんなでつくる開会式・閉会式

■意見募集期間■
2017年6月12日～8月31日

「学」との連携で新しい展開が生まれる

中条地区では、2015年から新潟国際情報大学（新潟市）と交流を進めています。学生たちは中条地区を訪れ、地区の人たちとふれあひながら、さまざまな取り組みを行っています。「笹山じょうもん市」でも、運営の手伝いや独自企画の催しなど、大活躍でした。また、この春には交流の一環で学生たちによるオリジナルの観光冊子『ちよこつと十日町』が作成されました。学生、そしてそれを見守る関係者に、話を聞きました。



▲完成した冊子



新潟国際情報大学情報文化学部情報システム学科の皆さん（右から2人目が松田さん）

コミュニケーションの大切さを学ぶ

新潟国際情報大学 情報文化学部

4年 松田 和也さん

交流を通じ、十日町市の人の温かさを知ることができました。何も知らずにやってきた自分たちに、たくさんのお話を教えてくれました。このことから、冊子は読んで人に「十日町市の温かさ」が伝わるよう作り直しました。完成後、地区の皆さんから喜んでもらえて、本当にうれい

です。また、あいさつはもちろん、相手の立場を思いやることなど、人とのコミュニケーションの大切さを学ぶことができました。社会に出たとき、必ず今回の経験が生きてくると思います。

交流という地域貢献でさまざまな経験を



新潟国際情報大学 情報文化学部 教授 内田 亨さん

学生たちは中条地区の皆さんとの交流で考え・動き、さまざまなことを経験させてもらっています。大学でも人材育成のために「地域貢献」が重要と考えており、今後も交流を進めて行きたいです。

「笹山じょうもん市」も、文化的な価値の高さはもちろんですが、何よりその共生や平和といった縄文の心を知ることが、貴重であると思います。そういったものを、学生たちに感じ取ってほしいです。

学生たちの姿を見た子どもたちに期待



中条地区振興会 会長 庭野 三省さん

私たちが若い学生たちと交流すると元気をもらうことができ、地区にとっても活性化に繋がっていると思います。これから発展して行くには、若い人たちの感性が不可欠だと思えますし、何より頑張る学生たちの姿を見た地元の子どもの心に、「やがては自分も」という芽生えが期待できるからです。

これからもぜひ大学との交流は続けて行きたいです。

平成30年度採用の十日町市職員の募集

チャレンジ精神あふれる人を求めています
 ●●●●● 問合せ：総務課人事係 ☎757-9787

● **募集人数** 3人程度
 ● **給与（初任給）** 14万6100円

※市長がこれらと同等と認める人を含む

● **受験資格** 平成8年4月2日以降に生まれた、学校教育法による高等学校を卒業した人、または平成30年3月31日までに卒業見込みの人

一般事務初級

● **募集人数** 3人程度
 ● **給与（初任給）** 19万7000円程度（最終学歴高等学校卒、勤務年数12年の場合の一例）

● **受験資格** 昭和55年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた人で、民間企業などにおける職務経験期間が平成29年7月末現在で5年以上ある人

● **募集人数** 1人
 ● **給与（初任給）** 15万8800円

● **受験資格** 昭和58年4月2日以降に生まれた人で、保育士資格と幼稚園教諭免許の両方を有する人、または今年度に取得見込みの人

● **募集人数** 3人程度
 ● **給与（初任給）** 15万8800円

今年度の試験は、1人1職種に応募に限ります。

保育士

● **募集人数** 3人程度
 ● **給与（初任給）** 15万8800円

● **受験資格** 昭和58年4月2日以降に生まれた、学校教育法による大学・短期大学・高等専門学校・専門学校の土木専門課程を卒業した人、または平成30年3月31日までに卒業見込みの人

土木技師中級

● **募集人数** 3人程度
 ● **給与（初任給）** 15万8800円

平成30年4月1日採用の十日町市職員採用試験（第3回）を実施します。チャレンジ精神あふれる皆さんの応募をお待ちしています。

ハピ婚サポーター・結婚新生活支援事業補助金

あなたの結婚を地域ぐるみで応援します
 ●●●●● 問合せ：企画政策課移住定住推進係 ☎755-5137

ハピ婚サポーター
 会長 藤巻 洋子さん

「ハピ婚サポートセンターとおかまちマリアージュ」と、サポーターの1人ひとりが連携し、幸せな結婚をお手伝いします。相談することも、イベントへの参加も、結婚への第一歩。少しでも勇気と関心をもって最初の一步、踏み出してください。

【ハピ婚サポーターの皆さん】

氏名	担当地区	電話番号
野上 信子	十日町	757-8995
高橋四美男	中 条	752-3281
村山 貞夫	川 治	757-8628
吉沢 利子	吉 田	757-1730
藤巻 洋子	下 条	755-2273
井口 敬子	水 沢	758-3058
井川 和子	川 西	768-2181
樋口富士子	中 里	763-2529
関谷 初子	松 代	597-3609
本山 敏雄	松之山	596-2456

「イベントに出るのは苦手」「婚活していることを周囲に知られたくない」結婚や婚活を悩んでいる人を支援するため、地域に根差して活動する10人の世話焼きさん「ハピ婚サポーター」を紹介いたします。

結婚を希望する本人はもちろん、両親からの相談にものっています。またサポーター間で情報交換し、お見合いのセッティングなども行っています。

ハピ婚サポーターによる「結婚なんでも相談」参加者募集

“結婚したいのか分からない” “結婚したいけど、どうしたらいいの” と一人で悩まず、ハピ婚サポーターに相談してみませんか。

☎ 7月30日(日)午後2時～ ☎ 7月28日(金)

☎ 分じろう ☎ 企画政策課移住定住推進係

☎ 対20歳以上の結婚を希望する独身男性 (☎755-5137)

☎ 定10人

参加費無料!! 気軽に参加してください

結婚新生活支援事業補助金

平成29年4月1日以降、十日町市で結婚し、新生活を始める新婚世帯の居住や引越費用に対して、最大24万円を補助します。

補助対象世帯

次のすべての条件を満たすこと。

- 平成29年4月1日以降、十日町市に婚姻届を提出し、受理された世帯
- 十日町市に住民票を有し、婚姻後5年以上市内に居住する意思があること
- 申請日が属する年度の前年度の夫婦の合計所得額が340万円※未満であること
- 過去に、同様の補助金の交付を受けたことがないこと
- 夫婦とも市税に滞納がないこと

補助対象経費

対象世帯の新生活にかかる左記の費用。

【住居費】

- 住宅の購入にかかる費用
- 住宅の賃貸借にかかる費用（敷金・礼金・賃料・保証金・共益費・仲介手数料など）

【引越費用】

- 引越業者または運送業者に支払った費用

***世帯所得340万円の夫婦合計収入額の目安** (単位：千円)

本人		配偶者		世帯収入
収入	所得	収入	所得	
4,925	3,400	650	0	4,925~5,575
4,000	2,660	1,390	740	5,390
3,000	1,920	2,372	1,480	5,372
2,500	1,570	2,872	1,830	5,372

共通事項

【第1次試験：筆記試験】

☎ 9月17日(日)

☎ 会十日町市役所

● **試験科目** 教養試験・専門試験（一般事務社会人経験者および一般事務初級は除く）
 作文・適性検査

【第2次試験：集団面接試験】

☎ 10月上旬予定（会場などの詳細は、1次試験合格者に直接通知）

☎ 8月18日(金)まで

● **必要書類** 人事係へ提出
 ● 必要書類を人事係へ提出
 ● 申込書類は返却しません
 ● 持参するとき 平日午前8時30分～午後5時15分に人事係へ持参（本人以外でも可）
 ● 郵送するとき 必ず簡易書留郵便で送付（8月18日(金)までの消印有効）

● **必要書類**

- 職員採用試験申込書（人事係に配置、市ホームページにも掲載）
- 成績証明書（最終学歴のもの。来春卒業見込みの人は最近までのもの）
- 卒業証明書（卒業見込みの人は卒業見込証明書）※保育士は不要
- 返信用封筒（長形3号）82円切手を貼付し、送先住所・氏名記入のもの2枚
- ※保育士への応募は保育士証の写しまたは保育士資格証明書の写し及び幼稚園教諭免許状の写し（取得見込者は除く）



国民健康保険・後期高齢者医療制度のお知らせ

新しい保険証と納税通知書などをお届けします

問合せ：市民生活課国保年金係 ☎757-3735

国民健康保険について

保険証の更新

8月1日から使用する新しい保険証を世帯主宛に郵送します。現在使用している保険証は、7月31日で有効期限が切れますので注意してください。

- 新しい保険証の色は空白
- 発送日 7月21日(金)

留意事項

- 保険証の記載事項に誤りがあったときは届け出てください
- 保険証裏面の注意事項をよく読んでください
- 学生の特例に該当する保険証も転出前の世帯主へ郵送します

平成30年7月31日までに

75歳になる人

満75歳の誕生日から後期高齢者医療制度へ加入するため、有効期限が変わります。期限が切れる前に、新しい「後期高齢者医療制度の保険証」を送付します。

国保税

平成29年度の保険税率は据置きとなります。

国保税は、被保険者の所得・資産・人数などに応じて世帯単位で計算し、世帯主が納税義務者となります。世帯主がほかの健康保険に加入しているときでも、世帯のどなたかが国保に加入していれば世帯主宛に納税通知書が送られます。詳しくは、7月18日(火)発送の納税通知書で確認してください。

国保税の軽減(申請不要)

世帯主および被保険者、特定同一世帯所属者の前年の総所得金額金額が一定の基準以下のとき、均等割・平等割が軽減されます。詳しくは納税通知書に同封されている「国民健康保険税のお知らせ」を確認してください。



国保税の減免(要申請)

次の理由に該当し、納税が著しく困難な世帯は国保税が減免されます。詳しくは問い合わせてください。

- 震災・風水害・火災そのほかの災害により住宅や家財などが著しい損害を受けた世帯
- 倒産・廃業・休業・失業・疾病・そのほかの理由により所得が著しく減少した世帯
- そのほか特別な事情があると認められる世帯

年金からの天引き(特別徴収制度)

次の条件すべてに該当する世帯は、原則として世帯主の年金から天引きで国保税が徴収されます。

- 世帯主が国保の被保険者
 - 世帯内の国保の被保険者全員が65歳以上75歳未満
 - 特別徴収の対象となる年金の年額が18万円以上であり、国保税と介護保険料の合計額が年金額の2分の1を超えないこと
- ※口座振替による納税を希望するときは申請が必要です。詳しくは問い合わせてください

ジェネリック(後発) 医薬品希望カードの配布

保険証と一緒に「ジェネリック医薬品希望カード」を1世帯に1枚配布します。希望カードは市役所市民生活課国保年金係(各支所市民課)窓口にもありますので、複数枚必要な人は申し出てください。



ジェネリック医薬品とは

ジェネリック(後発)医薬品とは、新薬(先発医薬品)の特許期間が終了したあと、厚生労働省承認のもとに発売するものです。開発費用が抑えられるため、同じ成分・効果でも価格が安く、薬代の負担を軽くできます。※ジェネリック医薬品を使えないときもありますので、医療機関などで確認してください

後期高齢者医療制度について

保険証の更新

8月1日から使用する新しい保険証を郵送します。現在使用している保険証は、7月31日で有効期限が切れますので注意してください。

- 新しい保険証の色はベージュ色
- 発送日 7月18日(火)

留意事項

● 保険証の記載事項に誤りがあったときは届け出てください

平成30年7月31日までに 75歳になる人

満75歳の誕生日までに「後期高齢者医療制度の保険証」を送付します。

保険料

被保険者の所得に応じた「所得割」と、被保険者が均等に負担する「均等割」の合計が年間保険料額となり、個人が納付義務者となります。詳しくは、7月14日(金)発送の年間保険料額の通知書を確認してください。

保険料の納付方法

● 4月の年金からすでに納めている人(特別徴収)

4月	6月	8月	10月	12月	2月
仮徴収			本徴収		
年金	年金	年金	年金	年金	年金

・4月、6月、8月の納付額=平成29年度の保険料額が確定していないため、仮に算定された保険料額を納めます。
 ・10月、12月、2月の納付額=確定した年度の間保険料額から、4月、6月、8月の納付額を差し引いた残額を納めます。

● 7月から納付書または口座振替で納める人(普通徴収)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
納付なし			納付書 または 口座振替								

確定した年間保険料額を、平成29年7月~平成30年3月に分けて納めます。

※特別徴収で納めている人で、口座振替による納付を希望するときは申請が必要です。詳しくは問い合わせてください

保険料の軽減(申請不要)

- 一定の所得以下の世帯に対しての軽減
- 均等割額=世帯の所得状況に応じて、9割、8.5割、5割、2割軽減が受けられます。
- 所得割額=個人の所得状況に応じて、2割軽減が受けられます。
- 後期高齢者医療制度加入前日に会社の健康保険などの被扶養者であった人への軽減
- 国保や国保組合に加入していた人は対象外

医療費の自己負担割合

病院などの医療機関に支払う医療費の自己負担割合は、1割または3割です。同一世帯の後期高齢者医療制度の被保険者の前年中の所得に応じて判定します。

8月1日から来年度の7月31日までの自己負担割合は、新しい保険証に記載されています。

【3割負担となる人】

同一世帯の後期高齢者医療制度の被保険者の中に、住民税課税所得が14.5万円以上の所得者がいるとき。

※これ以外の人は1割負担
 ただし、次の条件に該当するときは、申請により1割負担になります。

- 同一世帯に被保険者が1人
- 被保険者の収入合計金額が38.3万円未満
- 被保険者及び同一世帯の70歳~74歳の方全員の収入合計金額が52.0万円未満
- 同一世帯に被保険者が複数
- 被保険者全員の収入合計金額が52.0万円未満



妊娠・出産のための支援



安心して子どもを産み育てるために

問合せ：健康づくり推進課母子保健係 ☎757-9759

一部拡大 妊産婦への医療費助成

市では母子の健康保持や子育てに関する精神的・経済的な不安や負担を和らげるため、妊娠期からの切れ目のない子育て支援を推進しています。今年度も一部支援策を拡充します。子どもをほしいと望んでいる人たちが、安心して子どもを産み育てられるよう支援します。

継続 産後ケア事業

市内に住所を有する出産後5か月未満の産婦および乳児に、母体管理、沐浴、授乳指導そのほか必要な保健指導を医療機関で行います。出産後、自宅で子育てを手伝ってくれる人がいないときや、育児や体の回復に不安のある人はぜひ利用してください。

- 対象 市内に住所を有する妊産婦
- 期間 母子健康手帳の交付を受けた日から出産した月の翌月末日まで
- 助成額 医療機関窓口での自己負担額（健康保険対象分のみ）から次の①～④に掲げる額を控除した額を後日、償還払い（指定口座に振り込み）します。
- ① 通院1日につき530円（同一の医療機関・診療科に1か月4回まで負担、5回目以降無料）
- ② 入院1日につき1200円 ※平成29年9月1日入院分からは無料
- ③ 医師処方薬剤費用は無料
- ④ 指定訪問看護1日につき250円
- 申請方法 医療機関窓口で自己負担額をいったん支払ったあと、助成申請書に領収書などを添付して申請してください。
- ※当助成事業は産婦人科以外の診療科分の医療費も対象となります
- 申・☎健康づくり推進課母子保健係 ☎757-9759

- シヨートステイ 宿泊を伴う利用
- デイサービス 午前9時から午後5時までの日帰り利用
- ※シヨートステイ、デイサービス合計7日間まで助成
- 実施医療機関 ① たかき医院（馬場丙1550-1）
- 利用者負担額 産後ケア事業に係る経費のうち一部を市が助成します。利用者の1日当たりの負担額は次のとおりです。
- ・シヨートステイ5千円
- ・デイサービス2千円
- ☎たかき医院 ☎758-2361



継続 特定不妊治療費の全額助成

- 対象 県の特定不妊治療助成を受けた人で、夫・妻のいずれかが市内に住所を有し、妻の年齢が43歳未満の夫婦
- 助成額 特定不妊治療（体外受精または顕微授精）に要した費用の額から、県の助成額を控除した全額を助成します。
- 回数 夫婦1組につき通算6回を上限（妻の年齢が40歳以上の場合は3回）
- ※年間に複数回申請が可能です。
- 申・☎健康づくり推進課母子保健係 ☎757-9759



村山 克史さん（新宮乙・27歳）

高校卒業後、大学進学のため上京。東京での勤務経験を経て、地元に戻り入社。設備課に配属され現在3年目。



小堀 恭平さん（霜条・21歳）

地元での生活を選び、川西高校卒業とともに入社。土木課に配属され現在4年目。

若者×若者

キラメキワーカーズ

語る 仕事・会社・十日町市への思い

十日町市の仕事人

問合せ 産業政策課 ☎757-3139

地元のために働く道を選んだ

小堀さん—高校生のとき、当社の見学に訪れました。社員の元気の良さ、そして造ったものが地元に残るこの仕事に憧れ、入社しました。

村山さん—大学卒業後、東京で働きましたが、人と人との結びつきが色濃く残る地元が恋しくなり、さらに「現場で働きたい」という思いが強くなったため、ここに帰ってきました。

失敗は成功のもとを実感

小堀さん—消雪パイプなどの設置工事を担当しています。たくさん失敗をしましたが、同じことは繰り返さないと決め、日々働いています。昨年から現場を任せてもらえるようになり、少しずつですが自分の成長を感じ、同時に充実感を得ています。

村山さん—新築・改築する住宅などで、水回りの機器設備の工事を担当しています。私も失敗やミスを経験しましたが、そんなとき上司から、お客様の立場に立って考えて仕事をすることを教えられ、

自分の将来を見据えて

村山さん—「段取り八分、仕事二分」というように、仕事の段取りを上手くできるようになりたいです。準備を怠らない社員を目指しています。

小堀さん—「小堀に任せれば大丈夫」と言われるような社員を目指したいです。そのために積極性を大切に、まずは土木施行管理技士の資格取得を目指します。

協力企業

株式会社 拓越



- 管（給排水・衛生・空調・消融雪）・土木・さく井・設備機械の保守管理等
- 従業員91人
- 十日町市新座甲
- ☎757-8211
- よりよい生活環境を目指して、日々チャレンジしています。

新緑の中、大名行列壮観に

6月11日(日)：節黒城跡展望台



晴天に恵まれたこの日、川西地域の春の伝統行事「節黒城跡開山祭り」が開催されました。

妻有郷一帯を一望できる城跡展望台からは、恒例の大名行列が出発。地元の子どもたちも、姫君や少年剣士などに扮して参加しました。このほか、

信濃川を挟んだ対岸の大井田城跡などとのろし交換も行われ、訪れた人たちは、歴史を偲ぶイベントを楽しんでいました。

里山の復元を目指して

6月4日(日)：旧市民スキー場

「第6回十日町市民協働の森づくり植樹祭・風の森フェスティバル」が開催され、約180人が参加しました。旧市民スキー場を里山に復元するため、平成24年に始まった植樹活動も今回で完了しました。この日は活動の完了を記念する石碑の除幕と、ブナ・コナラの植樹が行われました。今後は6年間に植樹された約12,000本の育樹活動が展開されます。



コモ市の皆さん、十日町へ「鴨一^{カモ}ン」

6月8日(木)：南鏡坂



イタリア・コモ市との交流推進のため、姉妹都市交流協会では今年から新たな取り組みを始めました。それは、上村農園代表の上村一昭さん（南鏡坂・68歳）の合鴨農法の田で、訪れるコモの人たちに米作りを体験してもらい、おいしいお米を食べてもらおうというもの。

この日は、その田に地元鏡島保育園の園児たちが、合鴨のひなを放鳥しました。「ひなはフワフワでかわかった。草をいっぱい食べて、おいしいお米にしてほしい」と参加した丸山悠都くん（5歳）は元気に感想を話しました。秋には、コモの人たちに食べてもらえることを楽しみにしています。



世界を目指せ！若いアスリートの飛躍と挑戦

6月10日(土)・11日(日)：東京・駒沢オリンピック公園陸上競技場

日本パラ陸上競技選手権大会に、十日町アクティブスポーツに所属する中山一真さん（塚原町・17歳）が出場し、聴覚障がいT60クラスの400メートルで優勝、800メートルでも第2位に輝きました。また、7月1日(土)・2日(日)に開催された関東パラ陸上競技選手権にも出場し、800メートルで第2位に入りました。

中山さんは世界選手権への出場を目指して、練習に励んでいます。若いアスリートの飛躍と挑戦に応援をお願いします。

地域に根差した交通安全 中里地域の3,650日

6月2日(金)：なかさとアリーナ

この日、中里地域では交通死亡事故ゼロ3,650日を達成。これを祝い、800人が参加して記念式典とアクションが行われました。

式典で、十日町地区交通安全協会長の鈴木登さんは「中里では昭和55年から交通死亡事故ゼロの継続に取り組んでいます。今回の10年間・3,650日という記録の達成は、地域一丸となった協力があったからこそです」とあいさつ。地域の皆さんとともに、喜びをわかち合いました。イベントでは中里芸能協会による交通安全寸劇や県警音楽隊の演奏などが行われたほか、



全員で交通安全誓いの言葉が唱和され、今後の記録継続を誓い合いました。

分じろう・十じろう 1歳バースデー

6月10日(土)：分じろう・十じろう

市のまちなかに誕生した双子の施設が1周年を迎え、感謝の気持ちを込めたさまざまな催しが行われました。参加した村山ミドリさん（昭和町1）は、「イベントがたくさんあるので、いつも活用させてもらっています。気楽に来られて、いろいろな人と出会えるのが良いところです」と施設の長所を語ります。また、施設



コーディネーターである市民活動ネットワークひとサポの蕨澤篤さんは、「たくさんの方に育てられ1歳を迎えました。これからも多くの市民に愛される集いの場として活用してほしいです」と笑顔で話してくれました。



地域を守る消防団、一堂に会す

6月4日(日)：市役所本庁周辺

十日町市消防団は十日町・川西・中里・松代・松之山の地域ごとに方面隊が組織され、活動しています。今回全ての方面隊が集い、初めての合同演習が行われました。1,350人が参加した演習は、市役所本庁舎周辺の市街地で開催されたため、団員の家族や消防団協力事業所の皆さんも多く見学に訪れました。分列行進やポンプ操法などに臨む表情・動きなど、日ごろ家庭や職場では見せない団員たちの新たな一面を見て、訪れた皆さんも感激した様子でした。



第13回新潟 in the 田舎国際バスケットボール大会

6月3日(土)・4日(日)：中里アリーナ・貝野小学校

市の国際交流員（CIR）が企画しているこの大会は、市内のバスケットボールチームと7県におよぶALT（外国語指導助手）やCIRなど、100人余りが参加。各チームにはアメリカ・イギリス・オーストラリア・ニュージーランド・カナダ・マダガスカルなどさまざまな国の出身者が所属し、国際色豊かな交流が行われました。参加したキャメロン・チェンさん（アメリカ・32歳）は「毎年この大会が楽しみで、アメリカから十日町市に遊びに来ています」とさわやかに話しました。年に2回開催されているこの大会の、さらなる発展が期待されます。



みんなで取組む歯科衛生

6月8日(木)：なごみの家・エンゼル妻有



なごみの家・ワークセンターなごみ・ワークセンターかわにし・障がい福祉サービス

事業所エンゼル妻有の利用者142人に対し、歯科健診が実施されました。これは、十日町市・中魚沼郡歯科医師会の主催により「歯と口の健康週間」に合わせて行われたものです。

健診を行った中林弘歯科医師は、「口腔ケアのパンフレットも配布しました。家族や施設の職員も一緒になり、歯科衛生に取り組んでもらいたいです」と話してくれました。

演奏会
自由で楽しく、大らかな音楽の魅力を伝えます。
日 7月15日(土)午後8時
※開場5時30分
会 正念寺(神明町)
¥ 800円(前売り500円)
申・問電話または電子メール (satoyama@tokamachi.shop) で里山フィリア演奏会実行委員会 ☎757-8345

催し・講座

演奏会
まほろばの里川治・ヴィラあかし
大納涼会
日 7月15日(土)午後4時30分
7時30分

木彫アートキャンプ2017 中央展出品作家の公開制作
彫刻作品の粗彫りの段階を公開し、作品が出来上がる工程が観覧できます。4人の作家が公開制作し技術を競います。
●参加作家 藤巻秀正さん・角谷豊明さん・古川憲さん・小林実さん
日 7月15日(土) 30日(日)午前9時30分〜午後4時30分(会期中無休)
※30日(日)午後5時30分から

内屋台・演奏ほか
他雨天のときは屋内で開催
会・問 特別養護老人ホームまほろばの里川治 ☎761-7333

土日ないん・いれぶん市
地元産品を取りそろえています。出店仲間も募集中。
日 7月15日(土)〜8月13日(日)までの毎週(土)・(日)午前9時〜11時
会 分じろう
問 スガワラ商会・菅原 ☎80-6039-1890

夏季企画展 「野首遺跡出土品(なび)」
今年3月、出土品が市指定文化財に指定されました。これらを展示します。
日 7月22日(土)〜8月27日(日)午前9時〜午後5時※入館は4時30分まで
会・問 博物館 ☎757-5331

閉会式を開催(バンド演奏あり)
会・問 星と森の詩美術館 ☎752-7202

十日町軽スポーツクラブ 納涼盆踊りの集い
郷土の盆踊りを一緒に楽しみましょう。
日 7月19日(水)午後1時〜3時
会 市民体育館※出入り自由
他更衣室あり・浴衣歓迎
問 田口 ☎752-2683

夏季企画展 「火炎土器と水煙土器にみる縄文人の交流」
今50人
講 今福利恵さん(山梨県埋蔵文化財センター)
会・申・問 博物館 ☎757-5331

「森の学校」キョロロ 夏季企画展
前9時〜午後5時※入館は4時30分まで
月 7月24日(月)・7月31日(月)・8月7日(月)・8月21日(月)・8月28日(月)
休 7月7日(日)・8月14日(日)
会・問 博物館 ☎757-5331

【里山にいきる世界のいきものずかん〜外来種とくらす私たち】

十日町市や日本の里山に生きる外来種に注目し、入ってきた経緯や人間との関わり・生態などを紹介します。

日 7月15日(土)〜9月24日(日)午前9時〜午後5時
※入館受付は4時30分まで

【クワカブルーム】

生きたカブトムシやクワガタムシを観察し放題の夢空間。カブトムシやクワガタムシのツノやアゴの形、争いやエサを食べる様子などが、間近で観察できます。

日 7月15日(土)〜9月10日(日)午前9時〜午後5時
※入館受付は4時30分まで

〈共通〉

¥500円、小学生以上300円、未就学児・友の会会員 無料

問 「森の学校」キョロロ ☎595-8311



犯罪・非行を防止し、立ち直りを支える地域の力

6月26日(月)：市役所本庁

「社会を明るくする運動」推進のための総理大臣メッセージが、十日町・津南地区保護司会長の村山峰子さんから市長へ伝達されました。これは、すべての人が犯罪や非行の防止、またそこからの立ち直りを考え、明るい地域社会を作るための全国的な運動です。村山会長は「協力して、安全・安心な地域社会を築きましょう」と話すとともに、日々の保護司の活動も報告しました。



男女共同参画担当大臣賞 (平成29年度女性のチャレンジ賞)

「さまざまな困難がありましたが、地域の人・仲間・家族と、たくさんの人に支えられてきました。みんなで取った賞です」と感謝を語った佐藤さん。農業の可能性や価値を高めるため、農産物の6次産業化や情報誌の発行などに取り組み、農業や里山の文化を未来に繋げる活動が評価されました。



佐藤 可奈子さん(30歳・小泉2)

表彰おめでとうございます

関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長表彰 (交通安全功労)

平成9年に十日町地区交通安全協会の監事に就任。以来、現在まで財政面を中心に円滑な組織運営に尽力しました。澤野さんは、「協会の皆さんが活動しやすい組織作りに寄与でき、またそれが認められて本当にうれしいです。支えてくれた家族にも感謝しています」と話してくれました。



澤野 利弘さん(73歳・上原新町)

地元から芸術祭を盛り上げよう!!
地元サポーター・こへび隊
活動日誌



Facebookあります



地元サポーター“JISAPO”事務局紹介

JISAPO事務局は、現在20歳から60歳代の幅広い年代18人で運営しています。そんな事務局の活動を紹介します。

- ①定例会議(月1回)
各種案件の報告や決起集会などのJISAPO交流会の計画、また、サポーターが活動しやすい環境をつくるための提案などが話し合われます。
- ②英会話教室(月1回)
大地の芸術祭に訪れる海外の観光客に、英語で案内ができるよう「実践的に・楽しく・分かりやすく・丁寧に」を目標として開催しています。
- ③facebookの更新(随時)
イベント案内や募集、活動を報告する日記の更新などを行っています。

JISAPO事務局とサポーターの活動内容を多くの人に伝え、一緒に芸術祭を盛り上げていけるよう運営を進めます。

問合せ＝観光交流課芸術祭企画係 ☎757-2637

Serialization corner 連載コーナー



英会話教室の様子。講師を招き、毎回2時間程度の講義を行っています。



一緒に事務局の活動を盛り上げてみませんか? 希望の方はfacebookから連絡、もしくは活動時に事務局メンバーに声を掛けてください。

随時募集中! JISAPO

第16回 信濃川水辺の楽校

信濃川周辺に生息する水生生物・昆虫・植物・野鳥の観察や、自然を感じるゲームをします。

日 7月30日(日)午前9時45分～正午

※受付9時30分～

会 つまりっ子ひろば

対 子どもとその保護者

¥200円※観察ガイド1冊300円

持 筆記用具・帽子・長靴・雨具・水筒・虫よけ

他 当日の天候により中止することあり

※小雨決行

☒ 7月27日(休)

申・問 水辺の楽校活用協議会事務局 (建設課 監理係内 ☎757-3117)

催し・講座

募集

福祉・健康

子育て

スポーツ

くらし・相談

17

市報とおかまち 平成29年7月10日号

募集



参加者募集
やままゆの駒を
捕ってみませんか

日 7月15日(土)午前9時～10時

● 集合場所 水辺の楽校(つまりっ子ひろば)

対 子どもとその保護者

持 雨具・長靴

他 雨天決行

問 やままゆ懇談会・高橋 (☎090-6790-4182)

市民プール監視員募集

● 募集人員 10人程度

● 年齢 18歳以上※高校生不可

● 雇用期間 7月20日(休)～8月20日(日)午前8時30分～午後5時30分

● 時給 950円

● 対 健康で泳げる人

● 他 事前に救急法を受講(1時間30分程度)

問 スポーツ振興課 (☎756-5013)

参加者募集 十日町市移住者の会

結婚やU・イターンで十日町市に移住した人たちで、移住後の悩みや住居者目線で見

た十日町市の魅力などの情報を交換し合う「移住者の会」を開催します。

日 8月6日(日)午後3時～5時

対 市内に移住した人

● 500円※税込み・ソフトドリンク代

会・申・問 氏名・移住歴・移住理由・当日話したい内容を明記して電話またはメール (tokanachiyell@gmail.com) へ

ALLEN beer & pizza ☎761-7401

参加者募集 水沢婚活パーティー

気軽に新しい出会いを探してみませんか。

日 8月6日(日)午後4時～7時

会 二葉家(土市2)

対 20歳以上の独身男女※男性は水沢地区に在住する人

● 男性6千円、女性3千円

定 男女各先着20人

作品募集

「みんなが主役!男女共同参画フォトコンテスト」

家庭・職場・地域で性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、いきいきと活動している姿で、男女共同参画を身近に感じられる写真を募集します。

対 県内在住の人※プロの写真家は除く

● 応募点数 = 1人3点

● 作品要件 = 白黒・カラーは問わず、2Lサイズのプリント作品のみ。自作、未発表で1年以内に撮影したもの(合成・加工不可)。被写体(人物)が家族以外ときは、本人の承諾を得て応募すること

他 応募した写真は返却しません

☒ 10月2日(月)必着

申・問 応募用紙にエピソードやコメントを記載して、郵送または持参で〒950-8570新潟市中央区新光町4番地1新潟県県民生活・環境部男女平等社会推進課へ (☎025-280-5142)

参加団体募集 十日町おまつり 明石万灯・大民謡流し

日 8月25日(金)午後7時～8時30分(予定)

☒ 7月24日(月)

申・問 明石万灯・十日町商工会議所 (☎757-5111)

会 1、民謡流し・市観光協会 (☎757-3345)

三好園納涼会

日 7月29日(土)午後6時～8時

会・園 特別養護老人ホーム三好園 (☎756-2106)

フォルトネットからのお知らせ

【お茶にしようじゃねえ会】

日 8月5日(土)

会 分じろう

¥ 300円

内 ひきこもりから社会参加への道のり

【ひきこもりさんのオープンスペース】

日 毎週(火・休)午後1時～4時

会 ねころんだ(昭和町1)

〈共通〉

問 フォルトネット・関口 (☎090-4955-4169)

9)

夏休み 百人一首で遊ぼう

日 8月7日(月)午前9時30分～

正午※受付9時15分

会 サンクロス

☒ 7月31日(月)

申・問 百人一首万葉の会事務局 (北越保育園内 ☎757-3860)

第8回 情報館まるごと体感フェア 7月27日(木)～8月6日(日)

もっと情報館の楽しさを知ろう!

【映画「風の波紋」上映会】

日 7月29日(土)午前10時～11時50分・午後2時～5時5分

他 主題歌を歌う天野季子さんのミニコンサート、午後は小林茂監督のトークショーも開催

【ジオラマ工作教室】

日 7月30日(日)午前10時～正午・午後2時～4時

対 小学生以上(保護者同伴で幼児も可)

● 千円から

定 各20人※要事前申し込み

内 カプトムシなどのジオラマを作ります

【木の動物クラフト教室】

日 8月2日(水)午前9時30分～11時30分

対 小学生(保護者同伴で幼児も可)

● 300円

定 各20人※要事前申し込み

【楽しいフォトフレーム手芸教室】

日 8月4日(金)午前10時～正午

対 小学生(保護者同伴で幼児も可)

● 500円

定 20人※要事前申し込み

【キョロロ出前講座 昆虫標本づくり】

日 8月5日(土)午前10時～正午

対 小学生(保護者同伴で幼児も可)

● 500円

定 10人※要事前申し込み

【子ども野外映画会&線香花火大会】

日 8月5日(土)午後7時30分～8時30分

対 小学生(保護者同伴で幼児も可)

【心とますミニコンサート】

● 和幸(ギター)

日 7月30日(日)午後4時～4時30分

● 津南コカリナサークル有志(コカリナ)

日 8月6日(日)午後3時30分～4時

もっと本のことを知ろう!

【移動図書館車、ひまわり号がやって来る】

日 7月28日(金) 午後1時30分～3時30分

【こども司書養成連続講座①

～きみも図書館マイスターになれる～】

司書の仕事を体験し、図書館の使い方を学ぶ連続講座(全4回)の第1回です。

日 7月29日(土)午後1時30分～4時

※②8月26日(土)③9月30日(土)④10月28日(土)

対 全4回参加できる小学生

定 10人※要事前申し込み

【おはなしびよびよ 夏まつりスペシャル
たのしい夜のおはなし会】

日 7月29日(土)午後7時～8時30分

対 小学生(保護者同伴なら幼児も可)

定 20人※要事前申し込み

【山下多恵子さん講演会「北條民雄」を読む】

日 7月30日(日)午後2時～3時30分

【大学教授によるバリアフリー本の紹介】
障がい者や高齢者も楽しめる、バリアフリーの本などを紹介・展示します。

日 8月2日(水)午後3時～4時、3日(木)午前10時30分～11時30分

講 野口武悟さん(専修大学文学部教授)

【楽しい論語素読体験II】

日 8月5日(土)午後2時～3時(子ども向け)、6日(日)午前10時～11時(大人向け)

【絵本作家・かんべあやこさんの読み聞かせ会】

日 8月6日(日)午後2時～3時

対 幼児～小学生

他 サイン会・絵本の販売会あり

〈共通〉

会・申・問 情報館 (☎750-5100)

催し・講座

募集

福祉・健康

子育て

スポーツ

くらし・相談

16

市報とおかまち 平成29年7月10日号

上越テクノスクール
在職者訓練(技能向上
コース) 受講生募集

【3次元CAD (SolidWorks)】
日 8月18日(金)・23日(水)・25日(金)
金・30日(水)午後6時30分～9時
定 10人※定員に達ししだい終了
¥ 39000円

内 簡単な機械図面から部品の作成とアセンブリを行い、穴加工装置を完成させる操作を体験します
× 8月4日(金)
会・申・問 県立上越テクノスクール(上越市) ☎025-5445-2190)

「陸・海・空」
自衛官募集

● 募集種内容 ① 一般曹候補生・② 自衛官候補生(男子)・③ 自衛官候補生(女子)・④ 航空学生
対 18歳以上27歳未満(航空学生は18歳以上21歳未満)
● 募集期間 ①・④ 7月1日(土)～9月8日(金)、②・③ 同年

問 自衛隊新潟地方協力本部長
岡出張所 (☎0258-330256)

信濃川・大河津分水
写真コンテスト

信濃川・大河津分水の魅力伝える写真を募集します。詳しくは問い合わせください。
● 部門 ① 撮影場所などで4部門※ジュニア部門あり
● 作品要件 ① カラー・白黒ともサイズは四つ切りまたはワイド四つ切りで銀塩プリント※合成、組写真不可
対 アマチュアのみ
他 河川の水面が写っていること
× 10月13日(金)
申・問 写真裏面に氏名・年齢・住所・電話番号・応募部門・題名・撮影場所・河川名を記入した応募票を貼付し、郵送で〒940-0098 長岡市信濃1-5-30 信濃川河川事務所総務課へ (☎0258-323020)

福祉・健康



平成29年度介護保険料

介護保険料額が決定しました。通知書を郵送するので、確認してください。

対 65歳以上(第1号被保険者) 【普通徴収(納付書または口座振替で納める方法)の人】
● 発送日 ① 7月14日(金)
7月～翌年3月までの保険料額を通知します
【特別徴収(年金天引き)の人】
● 発送日 ① 7月25日(火)
10月・12月・翌年2月の年金天引き額を通知します
問 医療介護課介護保険係 (☎757-3757)

赤十字救急法基礎講習会

【夜間講習コース】
日 8月2日(水)・16日(水)午後7時～9時※計4時間
会 分じろう
定 3人以上
【日中講習コース】
日 8月6日(日)午後1時～5時
会 中里保健センター
定 20人

子育て



子ども探検隊2017

十日町・津南地域の農業水利施設見学会です。
日 7月29日(土)午前9時～正午
● 見学施設 ① 清津川揚水機場・桔梗原頭首工・雪室貯蔵施設※貸切バスで移動
対 小学生とその保護者
定 先着40人※保護者含む
申・問 十日町地域振興局 (☎757-5519)

子ども博物館
「土器の発掘体験と
キーホルダーづくり」

日 8月5日(土)午後1時30分～3時30分
対 小学4～6年生※保護者の参加可
¥ 500円
定 先着10人
持 汚れてもよい服装
× 7月22日(日)
会・申・問 申込書(市内小学校に配布)に参加費を添えて博物館へ (☎757-5331)

夏休み親子自由研究サポート
縄文土器をつくらう!

親子で縄文土器をつくってみませんか。
日 8月6日(日)・20日(日)
● 自由研究 ① 午前9時30分～午後2時45分
● 自由工作 ① 午前9時30分～午後0時15分
※両日参加必須
会 笹山縄文館
対 小学生以上(保護者同伴)
¥ 200円
定 15人
他 20日はお昼に火焰型土器(模造)で作る縄文汁のサービスあり
× 7月30日(日)
申・問 住所・氏名・電話番号をメール(museum.100@city.tokamachi.lg.jp)または電話で博物館へ (☎757-5531)

平成30年度採用 十日町地域広域事務組合 職員(消防士) 募集

- 募集職種・人数 = 消防士(上級または初級)若干名
- 受験資格 = ① 平成4年4月2日以降生まれの人
② 身体強健で大型自動車運転免許取得可能な人
③ 採用後、十日町市・津南町に居住可能な人
・ 上級: 大学を卒業した人※卒業見込みの人含む
・ 初級: 高等学校を卒業した人※卒業見込みの人、短期大学など上位学校を卒業した人または在学中の人含む
- 試験方法
・ 第1次試験: 9月17日(日)、試験科目: 教養試験・消防適性検査・作文・体力試験
・ 第2次試験: 10月中、試験科目: 面接試験
- 申込期間 = 7月10日(月)～8月18日(金)※当日消印有効
- 必要書類 =
① 職員採用試験申込書(問い合わせ先・各分署に配置、ホームページ(<http://www.tokamachi-kouiki.jp/>)からも入手可)※申込書の請求は土・日曜日、時間外でも可。郵送での請求は上級・初級の区分を明記し、82円切手(定形外は120円)を貼付した返信用封筒を同封して問い合わせ先へ
② 最終卒業校(1年制専門学校は高等学校)の成績証明書※卒業見込みの人は最近までのもの
③ 卒業見込みの人は卒業見込証明書
④ 82円切手2枚(通知用)
申・問 必要書類を郵送(書留のみ可。封筒の表に「受験申込」と朱書きすること)または持参で、〒948-0007 四日町新田1041番地 十日町地域消防本部総務課庶務係 (☎757-1556)

エコポイント事業
バイオマスプラスチック製ごみ袋の一部変更について

バイオマスプラスチック製ごみ袋の文字色と一部デザインが変わります。新しいものは、文字色が青色です。7月から各交換所で順次配布します。燃やすごみの日には、文字色が緑色のものも、引き続きご利用いただけます。

● バイオマスプラスチック製ごみ袋交換所

(平成29年6月末現在)
各支所地域振興課、市役所売店、エコクリーンセンター、各公民館(中央・中条・下条・川治・水沢・吉田)、四季彩館ベジぱーく、まちなす、分じろう、十じろう、岡村商店、イオン十日町店、Aコープ各店、クロステン、千年の市じろばた、えことびあ、中里商工会、コープ中里、関商店、ファミリーマート道の駅まつだい、合同会社うらだ

問 環境衛生課 (☎752-3924)



新(文字色:青)



お盆の太鼓

— つなぐ知恵と技 —

26 鬼太鼓

大口 久信さん

(重地・86歳)

「祭りが始まるぞ！神輿が来るぞ！という台図のため、太鼓をたたくん」
重地集落では、太鼓打ちは先導として神輿と帯同し、村を回ります。久信さんは、56歳のときに集落の先輩から太鼓打ちを引き継いで以来、30年余りの間、集落の祭りで太鼓をたたいて来ました。

「昔は盆祭りのころになると、ほかの集落の夜祭にも参加し、踊りや太鼓を披露して回ったんだ。そこで太鼓のたたき方を覚えてたんだよ」
「今では後継者がいないのが本当に残念。録音すればという声もあるが、実際にたたかなければ価値がない。後継者が見つかるまで、続けられたらいいね」

「受け継がれてきた伝統を守りたい」



112

子育てサークル むすび

子育てを楽しめる地域となるために

子育て中の親たちに、ゆつくりお茶を飲んだり、おしゃべりしたりする息抜きの場所を提供したいという思いで、平成28年7月に立ち上げた会で、のんびり過ごしてもらうことを大切に「むすびカフェ」を開設するほか、子どもと一緒に楽しめるイベントも開催し、子育てを応援しています。

◆問合せ：代表・阿部美記子さん (☎080-5426-5524)



「むすびカフェ」は、毎月第2～4木曜日の午前10時半から午後2時半まで川治公民館で開設しています。参加費はお茶代の300円で、お菓子・おもちゃ・絵本が用意され、お弁当の持ち込みもできます。



これまで、男性の育休取得者の体験談を聞く会・コーヒー飲み比べ・アスパラ収穫体験・言葉が講座・森のようちえん講演会など、さまざまなイベントを開催しました。どれも子どもと一緒に参加できるように心がけています。



むすびフェイスブック



むすびブログ

代表の阿部さん自身が移住者であることから、一人で心細い人や誰かとおしゃべりしたい人がふらっと立ち寄れる場を目指しています。日々のカフェの様子やイベント情報は、フェイスブックやブログで発信しています。

活動を紹介したい団体を募集しています
ひとサボ ☎761-7444

子育て中だからこそ、ひと息つける時間、子どもと一緒にくつろげる場所がほしいー三児の母である代表の阿部美記子さん(江道・32歳)は、家事・育児・仕事に奮闘する中で、自身が感じた思いを胸に活動を始めました。
多くの人との出会いを生かして会を立ち上げ、企画・運営などにも積極的に出向き、参加者や講師と話をし、新たな知識や別の視点などを学びます。そんな中で、面白そうだと感じたものは自分たちの活動にも取り入れていきます。
「むすびカフェ」の特徴は、みんなで何かをするのではなく、自宅でくつろぐように好きなことをしてのんびりすること。今後は各地域の公民館でもカフェを開業したいと考えています。
さらに、日常のちょっとした家事サポートや一時的な子どもの預かりなど、今後やってみたいこと アイデアは膨らみます。こうした取り組みを行い、子育てを楽しめる地域になるために、ひとつずつ思いを形にして行きます。



①見るからに年季の入った重地の太鼓。②手になじむよう緩やかに歪曲したうしの木で作られたバチ。③「気合いが入るんだ」と太鼓をたたくときは必ず着るといっぴ。④重地集落の神輿とうちわ。⑤「重地寄せ太鼓は佐渡の鬼太鼓が発生だと言われてるんだ」



地域おこし協力隊 岩崎 嵩さん

初めて集落の太鼓を聴かせて貰いました。これだけの技術は簡単には真似できないので、これからも受け継がれてほしいです。



取材した人

里山で育まれた知恵や技をぜひ紹介してください。自薦他薦は問いません。申し込み・問い合わせは企画政策課広報広聴係 ☎757-3112まで



ジュニア芸術祭

西小学校
145



うみのなかには、
うきものたくさん
金子 新人さん (1年)



うみのいきものをかきました。サメやザリガニもいます。かみをいろいろなかたちにきって、さかなたちがたのしくあそんでいるようにかきました。

花のブローチ
金崎あさひさん (2年)



たまごの中からいろいろな花のブローチが出てきています。かざりをつけてかくのがたいへんでしたが、色とりどりに上手にかけました。

4つの色を混ぜて、いろいろな色を作り出しました。とくにおしろのてっぺんをカラフルにしました。ロケットエンジンや羽をつけて空をとべるようにしました。



空とぶ おしろ
庭野 航大さん (3年)

大変だったところは指です。バトンを持つているところが上手にかけました。真剣に走っている様子が伝わるように表情も工夫しました。



ぜったいに こすぞ!
富田 蒼空さん (4年)

わたしの心
田村 郁菜さん (5年)



自分の気持ちを形や色で表しました。上から下にいくにつれて、明るい気持ちがだんだん暗くなっていくようにしました。いろいろな気持ちに合った色を使いました。

目の前の風景
村山 莉彩さん (6年)



授業を受けているときの風景です。大変だったところは人の姿で、特に手足です。自分の手を見て工夫し、色使いも気を付けて描きました。